

単元名「せつめいする文しょうをよもう」(6/10)  
 教材名「じどう車くらべ」「じどう車ずかんをつくろう」

自分の思いや考えが明確になるように、  
 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えるこ  
 とができる。(思B(1)イ)

本単元のゴールの姿：書く順番に気を付けて書くと、分かりやすい説明の文章を書くことが出来ることが分かり、自動車カードづくり  
 ができる。

言語活動例Bイ「説明する文章と絵をかいて、じどう車ずかんをつくり、図書館に展示する。」

| 児童の学び(気付かせたいこと) |   | そのための学習活動の工夫                        |
|-----------------|---|-------------------------------------|
| 10              | 色々な仕事があり、それに合う自動車を作られている。                                 | 仲間の自動車カードを読み合い、比べる。                 |
| 9               | 間違いに気を付けて、丁寧な文字で書くと、読みやすい。                                | 相手を意識し、丁寧に自動車カードを清書する。              |
| 8               | 「しごと・つくりカード」の文の文末を変え、順番に気<br>7<br>を付けて書けば、自動車カードをつくるができる。 | 既習事項をもとにして、オリジナルの自動車カードを作<br>る。     |
| 6               | 「しごと」に合わせた「つくり」を選ぶとよい。                                    | 全員で「しごと」を確かめ、「つくり」を見つける。            |
| 5               | 「つくり」には、順番がある。  | 2つの「つくり」の文の順序を入れ替え、意味を考える。          |
| 4               | 文に合わせた挿絵が描かれている。  | 文に書かれていることについて、挿絵に丸を付ける。            |
| 3               | 「しごと」1つと「つくり」2つがあり、「そのため<br>に」でつないである。                    | 乗用車、バスについての説明文を読み、文章の構成の特<br>徴を捉える。 |
| 2               | 2つの「問い」がある。   | 本文を読み、2つの「問い」の違いを問いかける。             |
| 1               | 図鑑は絵と文でできている。車は色々な種類がある。                                  | 教科書の本文や「はたらくじどうしゃ」シリーズを読む。          |

<本時のねらい> はしご車の図鑑から、適切な「つくり」を選び、書き抜く活動  
 を通して、「しごと」に合わせた「つくり」を選択すれば良いことに気づき、はし  
 ご車の「しごと・つくり」カードを書くことが出来る。

【研究と関わって】

(2) 単位時間の役割を意識  
 した単元構成の工夫

- ・「クラスで1冊の自動車比べ  
 図鑑をつくり、図書館に展  
 示する」というゴールに向  
 かって、1時間で1つずつ  
 説明文を書く際のポイント  
 を学習していくことで、1  
 時間の学びやその意味を実  
 感できるようにする。

(3) 自己の学びを実感し、  
 次の学習への意欲をも  
 つための工夫

- ・「読む」の学習では、毎時  
 間の終末に、ワークシート  
 にまとめる活動を通して、  
 1時間の学びを振り返り、  
 学習の積み重ねを感じられ  
 るようにする。また、それ  
 を「書く」の学習に生かせる  
 ようにすることで、学習  
 を積み重ねていくことのよ  
 さを感じられるようにする。

| 学習活動(○発問・予想される反応)  | 指導・援助   |
|--|---|
| 1 本時の学習の見通しをもち、課題化する。<br>○今日ははしご車の図鑑を見て、「しごと・つくり<br>カード」を書いてみよう。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">はしご車の「しごと・つくりカード」をかこう。</div> 2 図鑑から「しごと」を探し、はしご車の仕事に<br>ついて確かめ、カードに書く。<br>○はしご車はどんな仕事をしているのかな。<br>・高いところにいる人を助けます。<br>・高いところの火事を消します。<br>3 図鑑から「つくり」を選び、適切な2つを考える。<br>○高いところの人を助けたり、火事を消したりする<br>ために、どんなつくりがありますか。2つ選びま<br>しょう。(焦点化)<br>4 全体交流<br>○どうしてこの2つを選んだのかな。<br>・はしごがないと、高いところの人を助けられない<br>からです。<br>・クレーン車と同じで、はしごをのぼしたときに、<br>アウトリガーがないと倒れてしまうからです。<br>5 「つくり」をカードに書く。<br>6 まとめ<br>○図鑑から、「つくり」を選ぶときに大切なことは<br>何ですか。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「しごと」に合わせた「つくり」を見つけることがたいせつ。</div> 7 本時の振り返り<br>○図鑑から「しごと・つくりカード」を書くときに<br>大切なことに気をつけて、次回は、自分の選んだ<br>自動車の「しごと・つくり」カードを書きましょ<br>う。 | ○本時考えたいことを示<br>し、学習の見通しをも<br>つ。<br>○はしご車の仕事が捉え<br>られるように、文章と挿<br>絵(動画)を見比べたり、<br>動作化をしたりして確か<br>める。<br>○ロイロノートを使用し<br>て、選んだ「つくり」<br>の言葉を丸で囲むこと<br>で、必要な情報を視覚<br>化し、全体交流に生か<br>す。<br>○児童が話したことを図<br>鑑ではどこに書かれて<br>いるか確かめる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>人権教育の観点</b><br/>             自動車の「しごと」と<br/>             「つくり」について、図<br/>             鑑を根拠にして事実を確<br/>             かめて書き出す。           </div> ○本時の学びを実感し、<br>次時の学習の見通しを<br>もつ。 |

評価規準 (思・判・表)

- ・はしご車の資料から、  
 「しごと」とそれに合う  
 「つくり」を捉えている。  
 (ロイロノート・発言)

学習指導要領

B...p.64 C...p.69参照